

「世界に広かれ、もっと素敵な京都」

劉 丁仁(ユ ジョンイン)

京都は1000年以上前から日本を誇る都である。現代的な建物と歴史的な街並みの美しい調和が楽しめる。2018年初めて京都へ足を運んだ時、京都の魅力に惚れてしまった。それ以来気に入って京都に2度訪問した。私の京都旅行はとても満足だったが、同時にどこかで物足りなさを感じた。

●バス

初めて京都に旅行に行った時、電車でほとんどの場所を移動できた東京とは違って驚いた。観光客のため用意されたバスは一定金額を支払えば1日間自由に乗車することができ、希望する目的地まで京都駅から簡単に行くことができた。京都駅ではバスに乗車する際、様々な言語でプラットホームから出発するバスがどここの目的地までなのか表記されており、ボランティアの助けで日本語ができない外国人観光客も簡単に目的地まで移動することができた。

しかし、問題は目的地から再び京都駅に戻ろうとする時、あるいは目的地からまた別の観光地へ移動する時にいきなり現れた。ほとんどのバス停の目的地の表記が日本語だけになっており、どの方向に行くのか分からなかったのだ。京都駅にはボランティアが配置されているが、目的地にあるバス停には道を尋ねる人もおらず、携帯電話のグーグルマップに依存したが、バスに乗車することしかできなかった。グーグルマップのGPSが正確ではなくて、どこでバスに乗ればいいのか分からなくなり、当時日本語の地名の漢字が読めなかった私は何度もバスを反対方向に乗ってしまった。そのため、初めて行く場所で道に何度も迷って困った。特に銀閣寺の哲学の道に行った時のことが記憶に残っている。道を歩いて下町まで着いた私はそこからバスに乗って京都駅に帰ろうとした。しかし、そのバス停には名前とその次に止まるバス停の名前のみが大きく書かれている表示板だけが立っていた。バスが到着するまで不安を感じながら長い時間待った。

京都はバスでしか移動できない場所が多いだけに、観光地の近くにはどこで京都駅方向に行くバスに乗れるのか、各停留所に日本語だけでなく多言語での表記があればと思う。また、多くの観光客が訪れるので、主要観光地だけを一周して京都駅に戻る京都ツアーバスがあれば、時間も節約して道に迷わない快適な旅ができるのではないかと思う。

●災害時の対処

2018年7月、京都には大雨を伴う台風が近づいていた。私はその時友達と嵐山にある温泉を訪ねていた。私たちは台風が来るという事を全く知らないまま嵐山に行って、ちょうど風呂上がりにしばらく休もうと温泉内に配置されているテレビを見るために座った。テレビではニュースをやっていた。どこかで見たことのある場所が水に浸っている場面が映し出されていて、そこが今私たちが居るところであることに遅れて気づいた。ちょうどそのタイミングで温泉の女将さんが来て、「今、京都市から台風により嵐

山にいるすべての人に避難命令が出て、時間内に避難しなければならない」という話をした。温泉の休憩室には私たち以外に外国人が一人いたが、その外国人が日本語を全く聞き取れなかった。女将さんは「誰か英語ができる人いませんか」と、緊迫した声を上げた。幸いにも、短い日本語ができた私はその外国人に簡単な英語で「今すぐここを離れなければならない」という内容を伝え、急いで京都駅に向かう電車に乗った。当時、日本語が一言もできなかつたらどうなっていたか、想像するだけでもぞっとする。

自然災害の場合、非常に緊迫した状況であるだけに観光客のためマニュアル、指針、いち早く正確に知らせる手段が必要だと思う。

●グローバル時代と京都

京都には様々な遺跡や神社仏閣が存在する。旅の途中、そこへ向かう修学旅行で京都を訪れる中学生や高校生を簡単に見ることができる。日本の学生の場合、歴史的建造物の探訪を通じて歴史を知る時間を持つ。外国人観光客の場合、歴史的な背景や知識がない。勉強をしない限りパンフレットや案内板に依存するしかない。しかし、私が京都の観光地や博物館に行ったとき、外国人のために用意されているパンフレットや案内板が足りないと感じた。

金閣寺に行った時、金閣寺がどんなところなのか詳しく知りたかった。しかし、パンフレットと案内板の説明がすべて日本語だけだったので詳しく知る方法がなかった。そのため、自分でインターネットを通じてどのような場所なのか情報を得るしかなかった。日本語が読めない外国人たちは金閣寺がどんな歴史を持つ空間なのか分からないまま、ただ美しい寺という視覚的な情報でしか考えられないのがとても残念だと思った。

また、外国語に翻訳されていたとしても、間違った翻訳になっているところもあった。2019年度に平等院に行った時、その職員さんが間違った翻訳の韓国語のパネルを持っていて、直接行って翻訳が間違っていると説明したことがある。正確で適切な翻訳から、もっと多様な国の人たちがさまざまな視点から京都の魅力を感じるだろう。

その他に、キャッシュレスを進行している日本だが、まだ観光地の入場料を現金でしか払えないという事が少し不便に感じた。韓国の観光地の入場料はカードで支払っていたため、現金を持ち歩かなければならないという事自体が不便だと感じた。もし京都の観光地でカード決済が可能になれば、日本の他の地域とは差別化された利便性でますます多くの観光客が訪れるだろう。

私は歴史を感じることができる景色がたくさん残る京都が好きだ。この魅力を多くの人たちに知ってほしい。世界に広がれ、もっと素敵な京都！